

第八十六回  
帝國議會  
貴族院

# 農林中央金庫法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

## 付託議案

- 農林中央金庫法中改正法律案
- 產業設備營團法中改正法律案
- 石炭配給統制法中改正法律案

## 委員氏名

- 委員長 公爵桂 廣太郎君  
副委員長 子爵松平 康春君  
委員 侯爵黒田 長禮君  
伯爵久松 定武君  
子爵稻垣 長賢君  
松村眞一郎君  
小林 一三君  
左近可政三君  
男爵岩村 一木君  
男爵古市 六三君  
男爵西 酉乙君  
今井 五介君  
菅澤 重雄君  
吉村友之進君  
片倉兼太郎君

昭和二十年一月二十三日(火曜日)午前十時九分開會

○委員長(公爵桂廣太郎君) ソレデハ只今カラ農林中央金庫法中改正法律案外二件ノ委員會ヲ開會致シマス、先ツ最初ニ農林中央金庫法中改正法律案ノ御説明ヲ農林大臣ヨリ御願ヒ致シタイト存ジマス

○國務大臣(島田健雄君) 農林中央金庫法中改正法律案提案ノ理由並ニ改正ノ要點ニ付テ御説明申上ゲマス、御承知ノ通り最近農村ニ於ケル貯蓄ノ狀況ハ、農業團體ニ依リマスル農林産物販賣代金ノ貯金振替拂制ノ勵行等ニ依リ

マシテ、顯著ナル成績ヲ示シテ居リマシテ、市町村農業會ノ貯金ノ取扱額ハ百十億圓ヲ超エルト云フヤウナ實情デアリマスガ、此ノ成績ハ、農業團體ノ系統組織ヲ通ジマシテ農林中央金庫預リ金ノ上ニ自然反映ヲ致シマシテ、農林中央金庫ノ預リ金ノ激増ト云フ狀態ヲ現シテ居ルノデアリマス、即チ最近ニ於ケル農林中央金庫ノ預リ金現在額ハ六十一億圓ニ達シテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ増加致シマシテ資力ヲ以テ農林中央金庫ヲシテ其ノ本來ノ業務タル農林水産金融ハ固ヨリ、國債ノ消化、生産力擴充資金ノ供給等、戰時下ノ金融融トシテ要請セラレテ居リマスル方面ニ對シマシテモ出來ルダケノ貢獻努力ヲセシメマシテ、孰レモ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、現在ニ於ケル諸貸付金現在額ハ、六億一千餘萬圓、國債ノ保有額ハ、二十七億八千餘萬圓、社債其ノ他ノ保有額ハ、二十九億七千餘萬圓ニ及ンデ居ルノデアリマス、然レドモ農林中央金庫ヲシテ決戦下更ニ一段ト活潑ナル機能ヲ發揮致サセマス爲ニハ、現行ノ農林中央金庫法上不便トセラレル點ガアルノデアリマシテ、是等ノ點ヲ改正ヲ致シマシテ其ノ機能ヲ十分伸張セシメ、戰時下ニ於ケル金融機關トシテノ使命ヲ完遂セシメタイト云フノガ本改正案ノ提案ノ理由デアリマス、改正ノ第一點ハ出資者ノ範圍ヲ擴張スルト云フ點デアリマス、即チ從來農林中央金庫ノ出資者タル資格ヲ有スルモノハ政府ノ外法律上農業團體、水産業團體、森林組合系統團體、市街

地信用組合ト云フヤウナモノニ限ラレテ居リマスノヲ、今回之ヲ擴ゲマシテ、馬匹組合、農業保險組合、耕地整理組合、鹽業組合及是等ノ聯合會ト云フヤウナモノモ亦出資者トシテ認ムルト云フコトニシタイト云フ點デアリマス、改正ノ第二點ハ年賦貸付ノ限度ヲ擴張スルト云フ點デアリマス、從來自己資金ニ依リマスル年賦貸付ノ限度ハ法律上拂込出資金及農林債券發行額ノ二分ノ一トセラレテ居リマスノヲ、之ヲ是等ノ合計額ニ迄擴大セムトスルモノデアリマス、即チ現行法ニ依リマスト是等餘裕ノ限度ハ僅カニ六百萬圓程度デアリマシテ、之ヲ以テシテハ到底加入團體タル水産業關係團體方面、森林組合系統方面ノ需要並ニ今回新タニ加入ヲセシメムト致シマスル團體ノ方面ノ需要ニ對シマシテモ、到底其ノ需要ニ應ジ難イ實情ト相成ツテ居リマスノデ、是等ノ點ニ對シ緩和ノ途ヲ講ゼムトスル次第デアリマス、改正ノ第三點ハ餘裕金ノ運用ニ關スルモノデアリマス、現行法ニ於キマシテモ餘裕金運用ノ一ツノ形態ト致シマシテ、所屬團體以外ニ對スル短期貸付ノ方法ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、其ノ貸付ノ相手方ハ非所屬ノ農林水産業團體及是等團體ノ發達ノ圖ル爲ノ施設ヲ行フ法人、又ハ食糧營團其ノ他農林水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ限定セラレテ居ルノデアリマシテ、是以外ノ方法ト致シマシテハ、最近著増ノ一途ヲ辿リツ、アル軍需産業方面ノ資金需要等ニ應ズル爲ニ、興業債券、戰時金融債券其ノ他債

券ノ引受等ニ依ル以外ニ方法ガナカクシテ、今回ノ改正ニ依リマシテ之ヲ擴張致シマシテ、日本興業銀行、戰時金融庫其ノ他ノ金融機關ニ對シマシテモ、餘裕金ノ運用トシテ直接ノ貸付ヲ爲シ得ル途ガ拓カレル譯ニナルノデアリマシテ、農林中央金庫ト致シマシテ軍需金融等ニ對スル協力ヲ一層積極的ナラシムルコトガ出來ルヤウニナルノデアリマス、是ガ第三點デアリマス、其ノ以外ニ本改正ニ件ヒマシテ評議員ニ關スル事項、其ノ他數點ニ互リマシテ法文ノ整理ヲ行フト云フヤウナ點ガ改正案ノ中ニ加ヘラレテ居ルノデアリマス、以上本案ノ提出ノ理由並ニ改正内容ノ大要ヲ申上ゲマシテ、何卒御審議ノ上速ニ御可決アリマスルヤウニ御願ヒ致シマス

○國務大臣(島田健雄君) ソレデハ私ヨリ右兩法律案ニ付キマシテノ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、石炭配給統制法ノ方カラ申上ゲマス、本會議ニ於キマシテモ申上ゲマシタ通りデゴザイマスガ、重ネテ其ノ法律案ノ内容ニ付テ要點ヲ御説明ヲ致シ、提案ノ理由ヲ御承テ御ヒタイト存ジマス、本會議申上ゲマシタ通りニ、「コークス」ノ配給統制ト云フコトハ、昨年十月一日カラ配給機構ノ全面的ナ整備ニ付キマシテ、石炭ノ配給統制機關デアリマスル所ノ日本

石炭株式會社及地方石炭配給統制株式會社ヲ併セテ之ヲ擔當セシメルコトニ致シタノデアリマス、其ノ方法モ石炭ト概ネ同様ノ方法ニ依リマシテ之ヲ行フコトニ致シマシタノデアリマス、石炭配給統制ノ基礎法規デアリマスル此ノ法律ノ對象ニ「コークス」ヲ加ヘマシテ、「コークス」ニ付テモ總テ石炭ト同様ノ規律ヲ行ヒ得ルコトニ致シマスルト共ニ、法文上ノ整理ヲモ行ヒマスル爲ニ本法中改正ヲ要スル部分ガ出來テ參リマシタ譯デアリマス、改正ノ骨子要點ヲ申上ゲマスルコト、先ツ本法ノソレゾレノ條文ヲ「コークス」ニモ適用ヲ致シ、之ヲ活用致シマシテ、石炭ト同様ノ規律ヲ行ハウトスル點デゴザイマス、即チ本法中、日本石炭株式會社ヘノ賣渡、配給施設ノ賃貸、讓渡、日本石炭株式會社ノ地方石炭配給統制株式會社等ヘノ販賣條件、販賣價格等ノ指示、日本石炭株式會社ノ買入、販賣價格ノ認可制、業者ノ保有狀況ノ調査及品質、數量ノ検査等ニ付キマシテ、「コークス」ニ付テモ總テ石炭ト同様ノ規律ヲ行フコトニ致シタイノデゴザイマス、次ニ法文上ノ整理デゴザイマスガ、本法中ニ規定サレテ居リマスル日本石炭株式會社ノ目的及事業ノ中ニ「コークス」ヲ追加致シ、解釋ノ上バカリデナク、法文上ニ於キマシテモ、此ノ會社ガ「コークス」ノ配給統制ヲ併セ擔當スルモノデアアルコトヲ明確ニ致シテ置キタイト云フ趣旨デゴザイマス、又本法全段ニ互リマシテ、其ノ對象ニ「コークス」ヲ加ヘルコトナリマスル

ノデ、内容ニ照應致シマシテ、此ノ際其ノ題名ヲ「石炭及コークス配給統制法」ト、斯様ニ改メタイト存ジマスル次第デアリマス、大體右ニ申述ベキ所ガ本法改正ノ趣意並ニ内容デゴザイマス、何卒御審議ノ上御可決ヲ願ヒタイト存ジマス、次ニ産業設備營團法中改正法律案ニ付テ申上げマス、産業設備營團ハ御承知ノ通り昭和十六年ノ十二月ニ其ノ業務ヲ開始致シマシテ以來、營團ノ任務デアリマスル國家ノ緊要産業設備ノ建設ニ、或ハ未動遊休設備ノ轉活用ニ、更ニ昭和十七年ノ六月カラハ標準船舶ノ建造ト云フコトニ、ソレゾレ萬全ノ努力ヲ傾倒致シテ參リマシタ次第デアリマスガ、時局ノ緊迫ニツレマシテ、産業設備營團ノ任務ト致シマスル是等ノ專業ハ、急速ニ擴大セラレヤウニナツタノデゴザイマシテ、其ノ爲ニ營團ノ支出致シマシタ事業資金ハ、昭和十七年度迄ハ約四億圓程度デアリマシタノニ對シマシテ、昭和十八年度ニ於テハ約二十一億圓、本年度ニ於キマシテハ第三四半期迄ニ於キマシテモ既ニ二十五億圓ニ達シテ居リマスル次第デアリマス、然ルニ是等所

要資金ノ中、相當部分ハ産業設備ノ建設等ニ投下セラレ、固定スルモノデゴザイマシテ、産業設備營團ニ於キマシテハ是等ノ固定資金調達ノ爲ニ、主トシテ産業設備債券ヲ發行スルト云フ方法ニ依ルノ外ハナイノデゴザイマスガ、其ノ發行ハ本年度末迄ニ於テ十三億圓ニナツテ居リマス、更ニ之ヲ今日ノ營團業務ノ狀況カラ推測致シマスルト、其ノ固定資金所要額ノ全額ヲ産業設備債券ノ發行ニ依ルモノト致シマスルト、實ニ六十億ノ巨額ニ達スル見込デアリマス、斯様ノ狀況ニ於キマシテ、此ノ營團ノ資本金現在二億圓並ニ産業設備債券ノ發行限度タル拂込資本ノ十倍、即チ現在ノ資本金二億圓ノ全額ヲ拂込ムト致シマシテモ、其ノ十倍デアリマス二十億圓ト云フ發行限度ヲ以テ致シマシテハ、資金面ニ於キマシテ營團ノ業務遂行ニ行詰リヲ招カスルコト云フコトガ豫想セラレル次第デアリマス、而シテ此ノ營團ノ任務トスル所ハ、緊要な産業設備ノ建設ト云ヒ、造船關係業務ト云ヒ、何レモ今日ノ戰局ノ要請カラ申シマシテ、當面焦眉ノ急ヲ要スルモノデゴザイマス、此ノ爲ニ政府ニ於キマシテモ、本營團ノ資金調達ニ付キマシテハ、豫メ其ノ産業設備債券發行限度ヲ擴張シ得ル如ク措置セネバナラスト考ヘマスノデ、特ニ産業設備營團ノ資本金ヲ二億圓カラ四億圓ニ増額ヲ致シマスルト共ニ、其ノ産業設備債券發行ノ倍率ト云フモノヲ現在ノ十倍カラ十五倍ニ引上ゲル爲ニ、本改正法律案ヲ提案致シタ次第ナリノデゴザイマス、何卒御審議ノ上速カニ御可決相成リタイト存ジマス

○委員長(公爵桂廣太郎君) 御諮り致シマス、先ツ本委員會ニ於キマシテ農林中央金庫法中改正法律案ヲ先ニ審議致シ、後ニ他ノ二件ヲ總メテ審議スルコトニ致シ、是カラ農林大臣モ午前中居ラレルサウデアリマスカラ、其ノ方ノ質問ヲ先ニ御願ヒシタイト存ジマスガ御異議ガナケレバ其ノヤウニ取計ラヒタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(公爵桂廣太郎君) ソレデハ農林中央金庫法中改正法律案ニ付テ、特ニ大臣ノ居ラレマスカラ、大臣ニ對スル御質問ヲ御願シタイト存ジマス

○男爵岩村一木君 只今ノ御説明デ大體分リマシタガ、農林中央金庫法ノ資本金ノ出資ハ、政府ト政府ノ認メル諸團體ト、是ハ各半分ツ、デ、拂込ハ全部濟ンデ居リヤウニ思ヒマスガ、ソレガ濟ンデ居リヤウニ、今回新規擴張ノ諸團體ニ出資セシメルト云フコトハ、ドウ云フヤウナ方法デナサル御積リデスカ

○國務大臣(島田俊雄君) 政府ノ方ハ濟ンデ居リヤウニ思ヒマス、團體ノ方ハマダ濟ンデ居リマセズ

○男爵岩村一木君 政府以外ノ方デ濟マナイノハ、ドレ位ノ額デアツテ……

○政府委員(補見義男君) 私カラ御答ヘ申上ゲマス、中央金庫ノ資本金ハ現在五千萬圓デゴザイマシテ、内譯ハ、政府出資ガ千七百五十萬圓、一般ノ所屬團體ノ出資ガ二千二百五十萬圓デアリマス、政府ノ方ノ千七百五十萬圓ハ全部拂込済デアリマス、アト團體ノ千二百五十萬圓ノ中デ、約二千二百萬圓程度ガ拂込済ニナツテ居リマス

○男爵岩村一木君 サウツテ居リ、三千二百五十萬圓カラ二千二百萬圓ヲ引キタ殘リノモノヲ全部、今度新規ノ團體ニ出資ヲセシメヨウ、斯ウ云フ御考デスカ

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上ゲマス、出資ノ方ノ關係ハ、中央金庫ノ資金繰リ其ノ他ノ關係カラ見テ、出資ヲサセル必要ガアレバ出資サセタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、現在ノ處出資ノ増額等ノコトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、今度加リマサル團體ニ對シマシテハ、現在道府縣農業會其ノ他既存ノ團體ガ持ツテ居リマスカラ出資ヲ出來ルダケ其ノ方ニ持タセル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ指導シテ進ミタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵岩村一木君 出資者ニ貸付ノ金額ハ先程御話ガアリマシタガ、農林債券ノ發行ハ過去五箇年間でソナヤウナ順序ニナツテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(補見義男君) 農林債券ノ發行ハ現在ノ所ゴザイマセズ、大體政府資金ヲ預金部ダケノ資金ヲ經由シテ流シ場合ハゴザイマスガ、固有ノ債券發行額ハ現在ノ所ゴザイマセズ

○片倉兼太郎君 只今伺ヒマシタガ、此ノ際決議ヲシテ出資ヲ殖ヤスト云フコトハナサラスト云フ御話デアリマシタガ、現在ノ資本金ヲ持ツテ居リマスル者ガ幾ラカ空キガアルノデアリマスカ、如何デセウカ、口數ノ……

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上ゲマス、先程申上ゲマシタヤウニ、中央金庫ノ資金繰リ其ノ他ノ關係カラ、若シ必要デアレバ總會ノ決議ヲ以テマシテ出資金ヲ増額スル途ハゴザイマスガ、併シ現實ノ問題トシテハ只今ノ所ハ考ヘテ居リマセズ

○片倉兼太郎君 此ノ金庫法ヲ見マスカルト云フト三千萬圓アツテ三十萬口ニ分ツテ一口百圓トシテ居リマス、併シ政府ノ拂込ハ別デアリマスガ、他ノモノハ二十圓拂込トナツテ居リマスルカラ、之ニ今度ノ新シイモノカラ持ツトスレバ其ノ出資率ヲ他ヘ譲リ受ケルノデスカ、或ハ未拂込ノ口數ガアルカト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマスカ

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上ゲマス、法律デ最初作りマシタ時ニハ、三千萬圓デゴザイマシタガ、其ノ後増資ヲ致シマシテ現在ハ先程申上ゲマシタヤウニ、五千萬圓ニナツテ居リマシテ、出資ノ口數モ大體一口百圓、十年間ニ拂込ムト云フヤウナ手配ニナツテ

居リマス、從ツテ現在ハソレノノ團體ニ皆出資口數ハ所屬シテ居ル譯デアリマス、ソコデ今後加入致シマスル團體ニ付テハ、既存ノ團體ガ持ツテ居リマスルモノニ付テ、出來レバ分ケテ戴ク、斯ウ云フヤウナ風ニ指導シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○片倉兼太郎君 能ク分リマシタ

○委員長(公爵桂廣太郎君) 大臣ハ只今衆議院ノ方ニ御用ガ御有リダサウデアリマスカラ、復御見エニナルサウデアリマスカラ、其ノ間政府委員デ答辯ノ差支ナイコトダケヲ御質問願ヒタイト思ヒマスガ、復、大臣見エルサウデアリマスカラ……只今政府委員ヨリ法案ノ説明以外ニ數字ノニ之ニ補足シテ御説明ヲ申上ゲタイト云フコトデアリマスガ、ソレヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 改正ノ要點ハ先程大臣カラ御説明申上ゲマシタ通りデアリマスガ、ソレノ御審議上何等カ御參考ニナルカト存ジマシテ、多少數字ニ互リマシテ恐縮デアリマスガ、御參考迄ニ二三申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、第一點ノ貯金増加ノ趨勢デアリマスガ、大體ノコトダケヲ申上ゲマスト、昭和十三年ノ十二月昭和十九年ノ八月ヲ比較致シマシテ申上ゲタイト存ジマスガ、市町村農業會ニ於キマスル貯金ノ狀況ハ、十三年ノ十二月ニ十八億二千萬圓餘デアリマシテ、十九年ノ八月ニハ百十四億七千萬圓餘ニナツテ居リマス、農業團體ノ金融ハ御承知ノヤウニ、市町村農業會カラ道府縣農業會、ソレカラ中央ノ金庫、斯ウ云フ風ニ系統的ノ金融機關ガ出來テ居ル譯デアリマスガ、只今申シマシタ市町村農業會ノ貯金ガ漸次上ノ金融機

關ニ參ル譯デアリマシテ、道府縣農業會ノ貯金ノ狀況ハ同様ニ二十三年ト十九年ヲ比較致シマシテ、十三年ニ五億六千萬圓餘デアリマシテ、十九年ニハ八十一億五千萬圓餘ニナツテ居リマス、同ジク中央金庫ニ於ケル狀況デゴザイマスガ、十三年ハ一億八千萬圓、十九年ノ八月ハ六十二億、十二月末ニハ中央金庫ノ方ハ七十億ヲ突破シテ居ルヤウナ情勢ニナツテ居リマス、ソレカラ改正ノ要點ノ第二デゴザイマス年賦貸付ニ關聯致シマシテ數字ヲ申上ゲマス、

現在ノ拂込濟出資金ハ、十九年九月末現在デアリマスガ、三千九百一十一萬五千圓、斯ウ云フ數字デアリマス、現行法デ參リマス、其ノ半分迄年賦貸付ノ限度ガアル譯デアリマスカラ、限度ト致シマシテハ千九百五十五萬七千圓餘ニナル譯デアリマス、處ガ現在ノ年賦貸付殘高ハ千三百二十萬九千圓デゴザイマシテ、差引限度ノ殘額ト致シマシテハ、六百三十餘萬圓ガアル譯デアリマス、之ニ今回ノ改正ニ依リマシテ拂込濟出資金之限度ガ擴張セラレマス、現在ノ六百三十餘萬圓ノ限度ニ對シテ更ニ千九百五十五萬圓餘ガ加ハレ

ス様ナコトニナル譯デアリマス、改正ノ第三點ノ興業銀行、或ハ戰時金融庫等ノ金融機關ニ對スル貸付ニ關聯致シマシテ問題デゴザイマスガ、現在モ興業銀行及戰時金融庫ニハ資金上ノ繋リト云フカ關係ヲ有シテ居ルノデゴザイマス、即チソレ等ノ金融機關ノ債券ヲ中央金庫ト致シマシテハ引受ケテ居ル譯デアリマス、興業銀行ニ付キマシテハ債券引受高ハ十億五千萬圓餘ニナツテ居リマス、戰時金融庫ノ方ノ債券ニ付キマシテハ二億九千萬圓餘ニナツテ居リマス、今回ハ是等ノ債券ノ

引受ケテダナク、積極的ニ貸付金ノ途ヲ講ズル譯デアリマス、左様ナ趣旨デゴザイマス、以上何等カ御參考迄ニ申上ゲマス、

○片倉兼太郎君 此ノ貯金増加趨勢ト云フ表ヲ拜見致シマスガ、是ハ市町村ト都道府縣ト中央金庫トハダブルヤウナコトハナイノデアリマスカ、ダブルト申シマスカ、詰リ市町村ノ農業會ノ分ガ中央金庫ニ來ルノ預金ニシテアルト云フノハナイノデセウカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ致シマス、御尋ノヤウニ數字トシテハダブルト居リマス、下カラ漸次上ノ系統機關ニ上ツテ參リマスノデ、サウ云フ風ナ關係ニナツテ居リマス

○片倉兼太郎君 何等カ正味ノ分ハ御分リニナリマセウカ、正味ノ貯金ト云フヤウナモノ……

○政府委員(補見義男君) 正味ノ貯金ハ結局市町村農業會ノ貯金、是ガ正味ノ貯金ニナル譯デアリマス、ソレガ漸次上ノ方ニ上ツテ參ル譯デアリマス、基礎ハソコニアルト思ヒマス

○松村眞一郎君 餘裕金運用ノ範圍ヲ擴張サレル十五條ノ第六號デスガ、ソレハ唯貸付トアリマシテ、他ノ餘裕金ハ總テ短期貸付トナツテ居ルヤウデアリマス、只今ノ御説明ニ依リマスト云フト、興業銀行カラモ戰時金融庫カラモ債券中央金庫ノ方ニ引受ケテ貰ツテ居ルヤウデアリマスカラ、長期ノ方ハ債券中間ニ合フノハナイカト思ハレルノデスガ、サウスレバ餘裕資金ノ貸付ハ短期デ宜イヤウニ思ハレルヤウナ感ガ致シマスガ、此ノ關係ハドウ云フヤウナコトデセウカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ申上ゲマス、仰セノヤウニ長期ノ方ハ是ハ

債券ノ引受ニ依ツテ賄ヘル部分ガ大部分デアラウト思フノデアリマスカ、併シ一般ノ債券ノ發行ニ付キマシテハ色色其ノ當時ノ金融事情等ノ關係ガアラウカト存ズルノデアリマス、一應短期貸付ト致シマシテハ大體五年未滿ノコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマスカ、サウ云フ風ニ短期貸付トシテノミニ限リマスコトハ、少シ狭キニ失スルヤウニ考ヘマシタノデ、短期ノミナラズ長期ノ貸付モ包含出來ルト云フヤウニ考ヘタ次第デアリマス

○松村眞一郎君 參考書類ノ中ノ業務概況ト申シマスカ、此ノ印刷物ヲ見マスト市町村農業會ノ預ケ金ガ八十四億ニナツテ居リ、道府縣ノ農業會ノ預ケ金ガ五十三億ニナツテ居ル譯デ、市町村農業會デハ預ケ金ノ殆大部分ヲ道府縣農業會ニ預ケ入レルト云フコトノ形ハ大體見エテ居リマスカ、大分マダ餘裕ガアルヤウデ、是ハドチラニ預ケテ居リマセウカ、ソレト道府縣ノ農業會カラ中央金庫ヘノ預ケ入ガ、自分ノ預ケ入ヲ受ケテ居ルノガ五十三億デアリ、農林金庫ノ方ハ五十五億七千萬圓トナツテ居リマスカラ、道府縣農業會ノ外ニ色々ナ預ケ入ガアルドラウト思ヒマスガ、其ノ割合ハドンナヤウナ形ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ致シマス、第一ノ市町村農業會ノ點デゴザイマスガ、參考資料トシテ御手許迄行ツテ居リマスト所デ御覽願ヘマスカ、他ノ有價證券其ノ他ノ方面ニ之ガ運用ヲ見テ居ルヤウナ次第デアリマシテ、都道府縣ノ農業會ト農林中央金庫トノ關係デアリマスカ、是ハ全般ヲ通ジマシテ出來ルダケ資金ハ現在ノ處中

央ニ集中致シマシテ、市町村農業會ハ

出來ルダケ都道府縣農業會ニ預ケ入レ、都道府縣農業會ハ出來ルダケ之ヲ中央金庫ヘ預ケル、斯ウ云フヤウナ資金運上ノ仕方ヲ致シテ居ル譯デアリマス、從ツテ出來ルダケ是ハ上ノ方ニ持ツテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデスガ、併シナガラ各所レレノ團體ニ於キマシテ矢張り或程度ノモノハ持ツテ居リマセウカト急場ノ間ニ合ハヌト云フヤウナコトモアリマスカ、又經營ノ面カラ致シマシテモ或程度之ヲ保留シテ置カケレバナラヌ場合モアラウカト考ヘマス、從ツテ其ノ點ハ出來ルダケ地方ニサウ云フヤウナ點ヲ考慮シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙歩合ト申シマスカ、割合ノ點ニ付キマシテハ後程正確ナル數字ヲ御報告申上ゲタイト考ヘマス

○松村眞一郎君 國債保有高ガ農業會ニ於キマシテモ中央金庫ニ於キマシテモ大キナ部分ヲ占メテ居ルノデアリマスカ、市町村農業會ニ於キマシテハ自分ノ仕事ニ餘リ使ツテ居ナイト云フヤウナ感ジモセラレルノデアリマスカ、金ガ餘リ過ギテ居ルト云フノカ、此ノ金ヲ使ツテ事業ヲヤツテ居ナイト云フノデアリマセウカ、サウ云フ關係ハ如何デアリマセウカ、マダモウ少シ自己資金ヲ使ツテ農業ノ方面ニ爲スベキ事ガアルヤウニモ思フノデアリマスカ、其ノ關係ハ如何デアリマセウカ、要スルニ證券ヲ非常ニ薄山持ツテ居ルノデアリマスカ、事業方面ニ無理ニ使フト云フノデアリマセウカ、ソレドモ、ソレナ邊ノ御指導ハドンナヤウナ工合デアリマセウカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ致シマス、現在ノ處農村ニ於キマシテ仕事ヲ致シテ參リマスニ於テ、資金上ノ

需要ト云フモノハ、自己資金ノ現在ノ運用狀況等ニ於テサシテ支障ガアルヤウニハ我々承知致シテ居ラナイノデアリマス、勿論未端ノ市町村ノコトデアリマスカラ、資金運上ニ付キマシテハ尙色々指導シテ參ラナケレバナラヌ點モ多カラウト存ジマス、更ニ土地ノ改良デアリマストカ、或ハ林道ノ開發デアリマストカ、色々此ノ農業金融ノ本來ノ性質ト申シマスカ、指導金融ト云フ觀點カラ申シマスカ、色々サウ云フヤウナ點ガアリ、又今後ノ農業經營ノ上カラ見マシテモ、有畜農業ヲ指導シテ行カケレバナラヌト云フヤウナコトモ考ヘラレル譯デアリマス、從ツテ斯ウ云フヤウナ生産増強ト云フ點ト、指導金融ト云フ問題ニ付キマシテハ、尙實態ヲ十分確メマシテ、出來ル限り善處シテ參リタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村眞一郎君 此ノ色々ナ參考資料ヲ拜見シマスト、中央金庫ノ資金ガ充實シテ來ルト云フ傾向ヲ持ツテ居ル譯デアリマスカ、サウ致シマスト普通ノ金融機關トシテ從來存在シテ居ツタ農工銀行系統ト勸業銀行系統ノ方カラ、農業ノ方ニ資金ヲ向ケルト云フコトハ、幾ラカ輕クナツテ來タノデアリカト思フノデアリマスカ、團體金融ハ中央金庫ノ方デ爲サルトスレバ、團體金融ノ方ハ農工銀行系統ト勸業銀行ノ方デハ、段々荷ガ輕クナツテ來ルト云フ傾向ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ方面ト資金運用ノ領域ト申シマスカ、ソレナヤウナコトニ付テ何か御協定ニデモナツテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ申上ゲマス、勸業銀行系統ト本農林中央金庫ニ依リマスト金融トノ關係ニ付キマ

シテハ、仰セノ通りデアリマシテ、勸業銀行ト致シマシテハ荷ガマアソレダケ輕クナルト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ勸業銀行ハ不動産金融ヲ主ニシタ銀行デゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ從來ト同様ニ矢張り本來ノ其ノ使命ニ從ツテ努力シテ戴カナケレバナラヌト思フデアリマス、唯具體ノ問題ト致シマシテ、重複ト申シマスカ關係ノ出テマシマスルノハ、耕地整理組合等ニ付キマシテ、農林中央金庫ト勸業銀行トノ關係ガ出テ參ラウカト思フデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、十分兩方ニ於テ調和ヲ取り合ツテ參リタイ、

斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙自作農創設ノ資金ニ付キマシテモ、從來モ勸業銀行又ハ農林中央金庫カラモ融通ガ生ジテ居ルデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテモ同様ニ十分調和ヲ取ツテ參ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、唯農林中央金庫ガ、御話ノヤウナ關係カラ致シマシテ、勸業銀行ノ從來手ノ届カナカタ部分ニ對シマシテ手ヲ伸シ得ル、ソレダケ農村金融ノ圓滑ニ資シ得ルト云フコトハ言ヘル、

斯様ニ考ヘル次第デアリマス  
○松村眞一郎君 此ノ度ノ改正デ、鹽業組合ト云フモノガ入ツテ居ルデアリマスガ、從來ハ農林省ト云フノガアリマシタカラ、農林ト云フ意味ガ或ハ大體ソレデ解釋モ出來タカト思フデアリマスガ、今度ハ役所ノ名前モ農商省トナツタノデアリマスガ、此ノ法律ノ中ニ農林ト云フコトガアツテ、ドウ云フ範圍ニ適用スベキカト云フコトニ付テ、或ハ解釋上疑ガ生ズルヤウナコトガアルノデハナイカト思フデアリマスガ、ソレハ餘裕金ノ運用ノ十五條ノ

第五號ヲ見マシテモ、其ノ他農林水産業ニ關スル事業ヲ營ムト云フコトガ書イテアルノデアリマス、鹽業ト云フヤウナモノハドンドンヤウナ工合ニ是カラ解釋サルベキモノデアリマスガ、廣ク解釋スルコトハ一向差支ナイト思フデアリマスガ、鹽業系統ハドウ云フヤウニナツテ居リマスカ

○政府委員(菊見義男君) 御答ヘ申上ゲマス、實ハ鹽業系統ニ付キマシテハ、何ト申シマスカ從來ノ經緯モアルノデアリマシテ、鹽業組合及ビ同聯合會ハ、鹽業組合ノ法律ガ確カ昭和十八年ト思ヒマシタガ、其ノ時ニ組合ガ法律上認メラレタノデアリマスガ、其ノ實體ハ御承知ノヤウニ從來鹽業組合デヤツテ居ツタノデアリマス、從ツテ鹽業組合中央金庫ト稱シマシタ時ニ、農林中央金庫ノ前身デゴザイマスガ、此ノ中央金庫ニハ當然加入ヲ致シテ居ツタノデアリマス、ソレガ鹽業組合ナリ産業組合ト云フ名稱ガ除カレマシタノデ、其ノ際ニ之ガ外レタ、斯ウ云フ恰好ニナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ金融的ニハ從來繋ガツテ居ツタノデアリマスカラ、鹽業組合ガ出來マシテモ、經過的ニハ農林中央金庫ト繋ガリヲ持ツト云フコトニ、法律上モナツテ居ツタノデアリマス、從ツテ其ノ經過的ナサウ云フヤウナ取扱デナク、昔ヤツテ居リマシタト同様ニ、ハツキリト此處ニ入レタラ如何カト、斯様ニ考ヘテ入レマシタヤウナ次第デアリマス、唯仰セ

ノヤウニ農林中央金庫トアリ、又農林水産業トアルト云フ觀點カラ致シマシテ、色々混淆ヲ來タスヤウナ虞ガアルト云フヤウナ御懸念カトモ存ジマシタガ、是ハ只今申シマシタヤウナ經過的ノコトモゴザイマスルシ、尙所屬團體

トシテ法律ニ制限連記ヲスル經過ヲ執ツテ居リマスノデ、是等ノ點ハサシテ御懸念ノ點ハ運用上モ起ツテ參ラナイノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(公爵桂廣太郎君) ソレデハ資料等御請求ガアリマスナラバ、此ノ際承ツテ置キタイト存ジマス、或ハ又後程御申出下サツテモ結構デゴザイマス、本日ハ此ノ程度ニ於テ散會致シマシテ、又十分御研究ノ上、明日再會致シタイト思ヒマス、ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス  
午前十一時七分散會  
出席者左ノ如シ

- 委員長 公爵桂 廣太郎君
- 副委員長 子爵松平 康春君
- 委員
- 侯爵黒田 長禮君
- 伯爵久松 定武君
- 子爵稻垣 長賢君
- 松村眞一郎君
- 左近司政三君
- 男爵岩村 一木君
- 男爵古市 六三君
- 男爵西 酉乙君
- 今井 五介君
- 菅澤 重雄君
- 吉村友之進君
- 片倉兼太郎君

- 國務大臣
- 農商大臣 島田 俊雄君
- 軍需大臣 吉田 茂君
- 政府委員
- 農商政務次官 小山倉之助君
- 農商參與官 長野 高一君
- 農商省總務局長 楠見 義男君
- 軍需省機械局長 美濃部洋次君
- 軍需省燃料局長 難波 經一君

- 軍需省部長 北野 重雄君
- 企業整備本部長 未永 術君